

杉並区友好都市・瑞草区(大韓民国ソウル特別市)からの交流職員 鄭 哲元さん

20年ぶりに私の夢、かなう

私は大学生時代、学校の教養授業で日本語に初めて接した。日本のドラマとアニメをみながら日本を好きになり、日本の友達と付き合うようになって、私の日本への愛は絶頂に達した。その当時、日本の語学研修に行きたかったが、生活に余裕がなかったので、諦めなければならなかった。その後大学を卒業して仕事をしながら日本語と日本文化には自然と距離を置くようになった。20年経った今、ついに私は日本の心臓、東京で勤務している。とても幸せだ。

東京の第一印象、「あ、暑い。そしてきれいだ。」

7月1日午後2時、羽田空港に飛行機が着陸して、3時ごろ空港を出た。第一印象は暑いだった。熱い空気が私の顔を殴るようだった。その日以来、ずっと猛暑が続いている。旅行をするにはとても暑い。秋になればもっといいところを回ることができるかな…。

東京に対するもう一つの印象はきれいなこと。道端にゴミが見当たらない。掃除が上手かもしれないけれど、人がゴミを捨てないようだ。この前、青梅市花火大会に行ってきた。花火大会が終わって帰ってくる電車の中でびっくりした。多くの

人たちが自分で出したゴミを袋に詰めて、それを片手に電車に乗ることだ。韓国ではなかなか見られない光景だ。

祭りの国、日本

日本には様々な祭りが多いようだ。特に花火に対する愛は凄いだ。さっき話したように青梅市花火大会に行ってきたが、その日の記憶は本当に忘れられない。青梅市から招待で行ったのですが目の前で見ることができた。1時間半の間、幻想的な花火がとても良かった。星を見ることが好きな私にとっては、まるで宇宙空間で星の誕生と消滅を同時に見ているような感じだった。

日本の良い点を見習っていく

韓国のことわざに若い時の苦労は買ってでもするという言葉がある。若い時代の新たな挑戦は、一人の人生にとって良い財産になるという意味だ。今の私の日本研修が、私には忘れられない思い出になって大きな財産になるだろうと確信している。まだ2ヶ月しかたっていないので、慣れていないことが多いが、日本の良いことをたくさん経験して学んで韓国に帰って紹介したい。



今年7月から杉並区区民生活部文化・交流課で研修中の鄭 哲元さんから寄稿いただきました。

すぎなみ交流ニュース

Suginami Cultural Exchange News

스기나미 교류 소식
杉並的交流消息

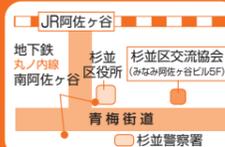
第50号

2018年10月

発行：杉並区交流協会
[Suginami Association for Cultural Exchange(SACE)]
〒166-0004 東京都杉並区阿佐谷南1-14-2 みなみ阿佐ヶ谷ビル5階
[Minami-Asagaya Bldg. 5F 1-14-2 Asagaya-Minami, Suginami-ku, Tokyo 166-0004 Japan]
TEL.03-5378-8833 FAX.03-5378-8844 E-mail : info@suginami-kouryu.org

<http://www.suginami-kouryu.org/>

◆年4回発行◆ 協会情報誌は区内施設窓口、区内の駅広報スタンドなどに置いてあります。



HP・Facebook 随時更新!!



目次

- 茶道体験講座開催報告他 2
- 杉並清掃工場見学開催報告他 3
- 瑞草区職員手記他 4

離れていてもウマが合う 南相馬市サポーター募集

東日本大震災以降、南相馬市では、ボランティア活動やふるさと納税を通じた寄付など、全国から多数の支援をいただきました。特に、杉並区と南相馬市とは、災害時相互援助協定を結んでおり、震災に関する物的援助や職員の派遣といった人的な支援にとどまらず、区内での日常的な物産展やイベント、さらには、スポーツや文化等を通じて交流を深めています。

この度、南相馬市では、これまで市を支援いただいた方、またつながりがある方、つながりを持ちたい方を対象に、「南相馬市サポーター」の募集を始めました。サポーターの方には、会報誌のお届けやイベントの開催等を通して、より南相馬市との関係を深めていく予定です。

杉並区内にお住まいの、「離れていてもウマが合う」方、ぜひサポーターへお申込みください!

◆申込方法

- ①QRコードからインターネットで申込み
- ②専用紙での申込み(右記の問い合わせまで、ご連絡下さい)



◆お問い合わせ

南相馬市サポーター事務局(南相馬市役所内)
電話：0244-24-5269 メール：shienteiju@city.minamisoma.lg.jp



Event Information from SACE 交流イベント情報

◆国内交流自治体からのお知らせ◆

●南相馬市物産展

福島県南相馬市の特産品販売
◇日 時：10月4日(木) 10:00～15:00、
11月8日(木) 10:00～14:00
◇場 所：区役所中杉通り側入口前

●吾妻の朝市

群馬県東吾妻町の新鮮な農産物の販売
◇日 時：10月12日(金)、11月30日(金)、
12月21日(金) 10:00～13:00
◇場 所：区役所中杉通り側入口前

●忍野村観光物産展

山梨県忍野村の特産品販売
◇日 時：10月19日(金) 10:00～15:00
◇場 所：区役所中杉通り側入口前

●名寄・秋の観光物産展

北海道名寄市の特産品販売

◇日 時：10月26日(金) 11:00～19:00
10月27日(土) 10:00～16:00

◇場 所：区役所青梅街道側入口前

●小千谷フェア

新潟県小千谷市の新鮮野菜や魚漁産コシヒカリなどの販売

◇日 時：10月28日(日)、11月25日(日)、
12月23日(日) 11:00～13:30

◇場 所：小千谷学生寮駐車場
(井草4-16-23)

●小千谷ふるさと市場

新潟県小千谷市の特産品販売

◇日 時：12月17日(月) 10:00～14:00

◇場 所：区役所中杉通り側入口前

●南伊豆観光物産展

伊勢海老の味噌汁試食サービスほか、干物や海藻など南伊豆町の特産品販売

◇日 時：12月10日(月) 10:00～14:30

◇場 所：区役所中杉通り側入口前・
1階コミュニティショップ前

●杉並区交流自治体合同物産展(すぎなみフェスタ)

◇日 時：11月3日(土) 10:00～15:30
11月4日(日) 10:00～15:00

◇場 所：桃井原っぱ公園(桃井3-8-1)

※いずれも雨天実施。物産販売は売り切れ次第終了となります。
マイバッグ(買い物袋)をご持参ください。

問合せ：区役所文化・交流課交流推進担当
☎03-3312-2111(代表)

「交流ニュース」へのご意見・ご要望・メッセージなどをお寄せください。お待ちしております。



海外文化セミナー ベトナム 日越外交関係樹立45周年記念事業

杉並区交流協会では、毎年1つの国を取り上げ、海外文化セミナーを実施しています。今年は日本との外交関係樹立45周年を記念して、「ベトナム」を取り上げます。

日時 2018年12月8日(土) 13:00～17:00
会場 セシオン杉並・1階展示室(杉並区梅里1-22-32)
※お車でのご来場はご遠慮ください。
内容 ベトナムについての講演会、音楽・踊り、観光・文化紹介、物品販売ほか
費用 無料 申込 不要/入退場自由 共催 杉並区
後援 駐日ベトナム社会主義共和国大使館
協力 東京ベトナム学校、ベトナム航空日本支社、青年海外協力協会、地球の歩き方

ステージプログラム(定員150名、先着順、出入り自由)

13:00 開会
13:15-14:00 講演① ファム・クアン・フン氏
(駐日ベトナム大使館・教育担当一等書記官)
14:05-14:35 ベトナムの踊りと音楽
(東京ベトナム学校)
14:45-15:45 講演② 小高 泰氏
(拓殖大学国際学部特任教授)
16:00-16:20 アオザイ ファッションショー ファム・クアン・フン氏
※プログラムの内容・時間は変更になる場合がありますのでご了承ください。



『観光紹介・物品販売』出展予定

- ・株式会社 三進インターナショナル(観光紹介)
- ・旅の本屋のまど(旅行本販売)
- ・特定非営利活動法人 JUNKO Association(雑貨販売)

問合せ：杉並区交流協会 Tel 03・5378・8833



交流協会の会員になりませんか?

杉並区交流協会では、国内・国際交流の推進をはかるために、様々なイベントを企画しています。あなたも会員になって、楽しく交流しませんか?

年度会費

- ・個人会員 1,000円/年
(9月以降入会の場合は初年度に限り500円)
- ・法人会員 20,000円/年

会員期間

入会の月から3月31日まで(当年度末)

会員特典

- ① イベントの情報や交流に関する情報紙[交流ニュース(年4回発行)・NEWS LETTER(年8回発行)など]をお届けします。
- ② 協会が実施するイベントに優先的に参加できる会員枠があります。
- ③ イベント参加費に会員割引があります。

申込方法

入会希望の方は杉並区交流協会まで電話・ハガキ・Fax・E-mailにより申込書類をご請求ください。

杉並区交流協会 異文化理解講座 茶道体験講座

2018年 第1回 13:30~15:30
6月28日(木) 第2回 17:30~19:30

交流協会を会場に、外国人のための「茶道体験講座」を外国人の参加者40名(第1回22名、第2回18名)を迎え開催しました。山中宗靖先生(茶道裏千家)が講師としてご指導にあられました。

参加者達は、伝統的な礼法に沿ってお茶をもてなす作法としての茶道に関心を寄せながら「抹茶」をいただき、「茶の湯」とも呼ばれるその特徴的なお点前を体験しながら理解する時間を過ごしました。



↑お茶道具の説明をする山中先生(手前)。お茶碗の絵柄や正面など作法が紹介されます。参加者の興味深い質問にも丁寧に答えてくださいました。特に古典的な扇面や四季折々の絵柄とそれにちなんで彩色されたお茶碗には「美しさ」と同時にフォルムや焼き物としての魅力を感じました。



↑掲出されたお茶道具一覧。日頃の生活の中に代用できるものをイメージするなど、この経験を自身の生活に活かしてみたいと思う参加者もいました。



→「茶会」の流れの実践は、お菓子をいただくことから。当日のお菓子の「練り切り」は季節感が感じられる紫陽花をあしらったものでした。



裏千家の作法に沿って、抹茶を自分で点てさせていただくという日本の文化をあげた「体験講座」でした。最後には先生の「一期一会」といった「茶道の精神」までご紹介があり終了しました。参加者からは楽しめたと同時に、こういった経験が文化を理解するにはとても意義があるといった感想が寄せられました。また、講座の進行や語学ボランティアの方のサポートによるところもあげていました。そして更に、茶道以外の様々な日本の伝統的な文化に触れてみたいといった希望も聞くことができました。(広報Y)



← さあ いよいよ抹茶を自分で点てる時。真剣に茶筌を上下に振りました。この頃には、先生の説明にも徐々に慣れ、また参加者同士言葉を交わしながら和やかに時間が過ぎていきました。そしていよいよ「抹茶」をいただくその時を迎え、お茶の美味しさ一同つつがなくお茶を点てられた満足感を同時に味わったのでした。



異文化理解講座開催 知られざるドバイの暮らし・魅力

2018年6月29日(金)13:30~15:30
於：杉並区交流協会

講師はドバイ在住5年目のすぎなみ観光大使・針貝結花里さん。トランジットで立ち寄ったという数名の方を除くと、ほとんどの参加者にとってドバイは未知の国。そのためドバイで家庭と仕事を両立させている針貝さんの硬軟織り交ぜたお話は「女性目線で親しみやすく、とても分かりやすかった」と大好評でした。

小さな漁村だったドバイは、英国保護領の時代を経て、1971年にアラブ首長国連邦を構成する首長国のひとつとして独立。あっという間に中東の金融と流通、観光の一大拠点に変貌しました。スライドでいくつもの「世界一」を誇る観光スポットやモールの様子が紹介されましたが、独立時の人口は30万人弱。「中世から近代への急変」を支えたのは外国人労働者でした。いまでは人口約300万人(2018年)のうち約86%が外国人で日本人も3千人ほど暮らしています。外国人の割合が2%弱の日本とは別世界で、そこで暮らす人びとのイメージがつかみにくかったのですが、針貝さんご家族の余暇は、アラビア湾で泳いだり、砂漠でパーベキューを楽しむことだといふホッとした気分になりました。(広報T)



ドバイ土産のコーヒー



杉並の新名所! 必見の社会科見学スポット

外国人のための杉並清掃工場見学

約5年間の建替え工事を経て昨年9月末に竣工した杉並清掃工場。その最新の焼却技術と私たちが出したごみの行方を知りたいと、7月5日(木) 清掃工場の見学に行ってきました。

参加したのは外国人42名、日本人8名、関係者・スタッフ26名の計76名。うち18名はエベレストインターナショナルスクールの皆さん。授業の一環として参加しました。

緑に囲まれた美しい清掃工場

まず驚いたのはその外観。周辺の環境に調和するように敷地面積36,000㎡のうち10,000㎡を緑化しているとのこと。屋上や外壁には緑があふれ従来の清掃工場のイメージとは全く異なっていました。

見学に先立ち清掃事務所の職員からごみの分別について学びます。「ごみの分別方法がわからない」「清掃工場がみたい」という外国人の声がかきつけて開催された今回の見学。グループに分かれ実際にごみ・資源を分別してもらいながらごみのルールを学びました。



巨大なクレーンに大興奮!

いよいよ工場見学に出発。まずはごみ収集車が集結するプラットフォームから。ガラス張りの廊下から収集車が次々と到着しゴミを排出しては出発していく様子が見られます。

続いてごみバンカ(ごみを溜め置く場所)に到着。目の前には大量のごみと巨大クレーン。そのスケールの大きさに思わず歓声

が。私たちが出したごみはここに集まり、巨大クレーンで焼却炉に運ばれていきます。800度以上の高温



で24時間ごみを燃やし続けている焼却炉。私たちはガラス越しに1分間だけ炉の中を見て熱を感じることができました。

見せるための開かれた工場

見学コースでは、これ以外にも中央制御室や排ガス処理設備、ごみ焼却の熱を用いた発電設備などすべての工程をガラス越しに見ることができました。最先端の技術で可燃ごみを20分の1まで焼却し、法規制値よりも厳しい規制値で排ガスを処理、その際発生する熱エネルギーを発電や熱供給に利用しているそうです。工場は見学者を想定して作られていて、専用エレベーターや通路は臭いもなくとてもきれい。職員の説明もわかりやすく、外国人の皆さんは通訳ボランティアを介しごみの現状と最先端のごみ処理技術を知ることができました。最後にのんびり足湯につかり見学は終了。

毎日大量のごみ600トンと24時間体制で焼却処理してくれている杉並清掃工場。そのおかげで私たちは毎日清潔に暮らせるのだと実感しました。個人でできることはわずかですが、ごみを極力ださない、しっかり分別する、そしてぜひ一度見学に行かれてみてはいかがでしょうか。(広報I)



参加者の声

- * It was very interesting. (とてもおもしろかった。)
- * First time I saw about how to burning trash. High technology. I know about many kind of trash. (初めてどんなふうにごみを燃やすのかを見ました。高度な技術です。さまざまなごみについて学びました。)
- * いろいろ勉強しました。すごい。
- * 以前からごみをちゃんと分別する方法を知りたかったのですが、今日それについてすごく勉強になりました。

交流探歩 アンネ・フランクのバラ 愛称：アンネのバラ

毎年5月と10月になると、杉並区立高井戸中学校の校庭いっぱい、美しいバラが咲き誇ります。平和への願いのシンボルとして、大切に育てている「アンネのバラ」です。昭和49(1974)年、学校の授業で「アンネの日記」について学んだ生徒たちが感想文をまとめ翌年、アンネの父、オットー・フランク氏に送りました。これがきっかけとなって昭和51(1976)年に、オットー氏より3株の苗木が高井戸中学校に寄贈されました。以来、「アンネのバラ」は、高井戸中学校から全国の学校等に株分けされ、平和のシンボルとして各地で咲いており、杉並清掃工場においても大切に育てています。(杉並清掃工場 案内板より)



地域ボランティアの皆さんと世話をしているそうで、色とりどりのバラがきれいに咲き誇っていました。